

'74 ありふ

五周年記念誌

吹田青年会議所

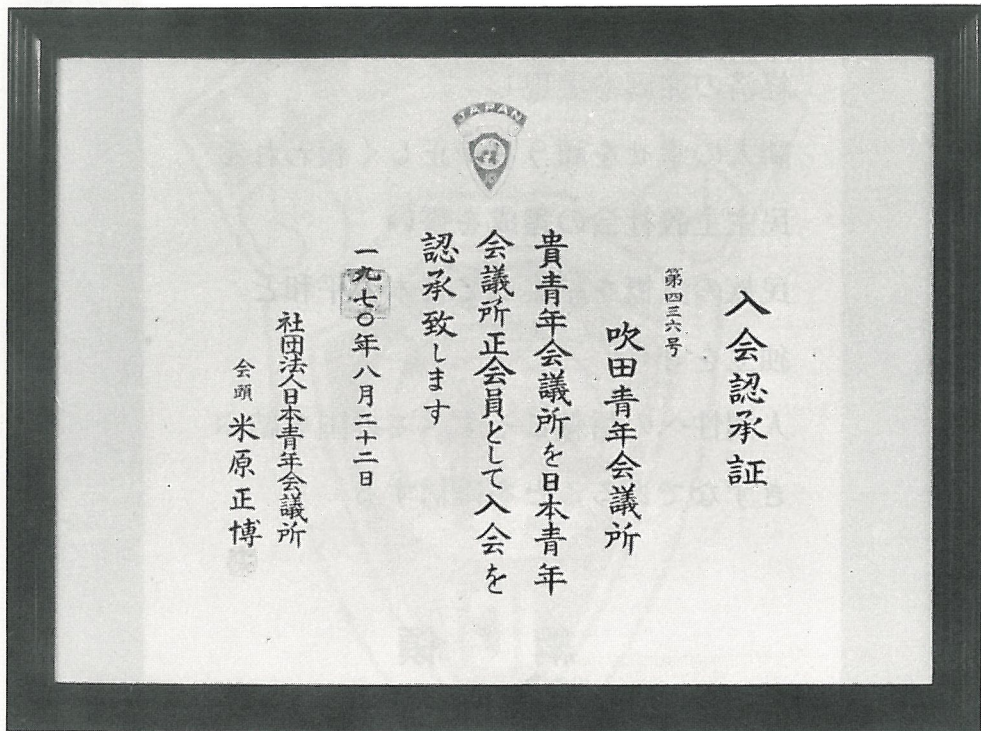


J C 宣言文

理性と法による社会の秩序を確立し
個人の創意と公正な競争を通じて
経済の発展を実現し
隣人の幸せを願う者が正しく報われる
民主主義社会の達成を誓い
民族の気概を結集して日本の平和と
独立を守り
人間性への信頼こそすべての国を結ぶ
きずなであることを確信する

綱 領

われわれ Jaycee は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう



〈1974年度 日本JCスローガン〉

模索する英知

挑戦する勇氣

若さで担え 日本の未来

〈1974年度 吹田JCスローガン〉

見なおそう

見きわめよう

そして自ら行動しよう



青年会議所とは…

青年会議所(JC)は、`明るい豊かな社会、
の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる
責任感をもった20才から40才までの指導者
たらんとする青年の団体です。

青年は人種・国籍・性別・職業・宗教の
別なく自由な個人の意志により、その居住
する各都市の青年会議所に入会できます。

20年の歴史をもつ日本の青年会議所運動
は、めざましい発展を続けておりますが、
現在、400の都市に25,000余の会員を擁し、
全国的運動の総合調整機関として日本青年
会議所が東京にあります。全世界に及ぶこ
の青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、
80数カ国に国家青年会議所があり、40余万
人が国際的な連けいをもって活動していま
す。

日本青年会議所の事業目標は、`社会と人
間の開発、です。その具体的事業として、
われわれは市民社会の一員として市民の共
感を求め、社会開発計画による日常活動を
展開し、〈自由〉を基盤とした民主的集団指
導能力の開発をおし進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自
由経済体制の確立による豊かな社会を創り
だすため、市民運動の先頭にたって進む団
体、それが青年会議所です。



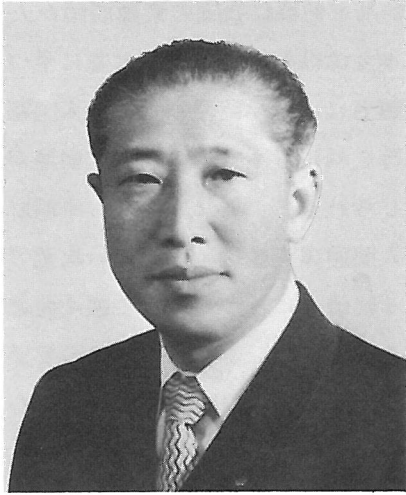
ごあいさつ



吹田青年会議所
理事長 関山守洋

世界の人々が郷土吹田、千里丘陵に集い、人類の進歩と調和を高らかに唱った1970年、私達吹田青年会議所は、日本万国博覧会の、いわば申し子として、地元各界、先輩JCはもとより、世界各国代表からの暖かい祝福をうけて誕生いたしました。以来わずか5年目の今日、私達は、日本青年会議所へ多くの出向メンバーを送り、遠くはサイゴンJC、近くは、時を同じくして発足した下田犬山両JCと親密な友情を交す等、JCとしての体裁を整えるとともに自ら行なった市民意識調査を足がかりに、青年会議所本来の活動である地域開発運動に取り組みはじめました。よりよい町づくりは、よりよい国づくりにひいてはよりよい世界をつくり上げる事につながります。私達吹田青年会議所は、私達の町「吹田」をより豊かで住み良いものにする働きの一端をになうべく、まず会員一人一人が自らを高め、よい市民になり、さらにJC運動としての地域開発に努力したいと考えております。私達の住む吹田市は近年、急激に膨張し、変化しています。「見なおそう、見きわめよう、そして自ら行動しよう」をスローガンに本年5周年を迎えた私達は、その歩んで来た道をふり返り、検討し、そして又大きな未来へ前進するスタートの年にしたいと思います。現在まで私達によせられた暖かい御支援に感謝するとともに今後なお一層の御指導をたまわりますようお願いいたします。

祝 辞



吹田市長
榎 原 一 夫

吹田青年会議所五周年記念誌の発刊を心からお喜び申しあげます。

光陰矢の如しとか、全世界注視の中でのぎにぎしく開催された日本万国博からすでに5年、この万国博開催の1970年に貴青年会議所が勇躍うぶ声をあげられたのでした。その後皆さま方会員一人一人が「英知と勇氣と情熱」のスローガンのもとに結集され、市民意識調査をはじめ、健康まつりの開催、すいたまつりや全市いつせい草薊りの実施など、若い力を十二分に駆使し、数々の事業を成功させてられました。

とくに5周年を記念して市庁舎前に植えられたくすのきは、この夏新しい芽をふき、これからも貴会議所の発展とともに大きく繁っていくことでしょう。

私も皆さま方の催しものには時間の許すかぎり積極的に参加させていただき、会員諸氏のバイタリテイには常々敬服いたしているところであります。

吹田市も今や人口29万の市民の皆さまとともに考え、住みよい街づくりをめざして前進しつつあります。

皆さま方におかれましては、この誕生五周年をひとつの契機とされ、会員相互の親睦はもとより、あすの吹田のにない手としてますます躍進されますことを祈念いたしましてお喜びのことばといたします。

祝 辞



吹田商工会議所

会 頭 中 川 義 一

昨年10月第4次中東動乱を契機に我国の資源問題が大きくとり挙げられ、日本丸沈没論まで唱えられるに至った。資源開発、食糧問題更には海洋開発、その他多国籍企業の脅威、石油問題等を軸に日本経済の長期的展望が盛んにそして真剣に論じられるに至った。而かも所謂脱工業化社会を志向し、人間回復を企図した新しい次元での行動を要請されている経済人にとって、今や強く発想の転換を求められているといえる。こうした時代の要望に応えるものは、研究心旺盛、かつ勇断と実行力に富む青年経済人を措いてはないと信じる。我国の経済界はこうした人材の輩出を何よりも待望している。この期待に応えるものは、個人の創意と公正な競争を通じて経済の発展を実現することを使命とされる青年会議所の会員諸君を措いて他に求めることは至難であると信じる。創立以来大地に足をつけて着実に伸びて来られ、茲にめでたく五周年を迎えられたことに対し、満腔の祝意を表すると共に、前述の期待に副われるよう強く要望し、これを以て祝辞に代えさせていただきたい。

祝 辞



吹田ロータリークラブ
会長 梅田 三次郎

吹田青年会議所では創立五周年を迎えられましたことに対し、地区を同じうし、同じような活動目標を持つ吾々のクラブとして、心からお慶びを申し上げます。

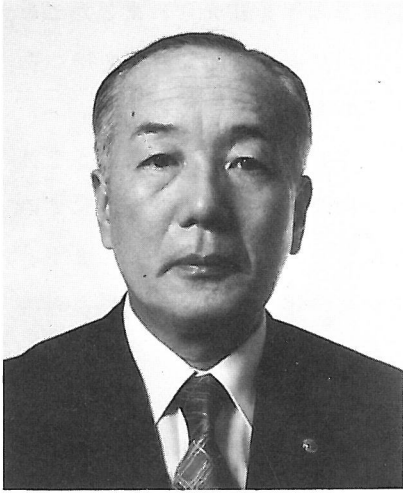
貴会議所が活動目標としておられる「明るい豊かな社会」実現の理念は私たちが理想とする「職業を通じての社会への奉仕」の理念と軌を一にするものと信じます。ただ40才を限度とする貴会員の年齢制限により私たちのクラブ員に出来にくい「からだ」による奉仕活動を目標にしておられる若さの貴さに敬意を表する次第です。

五年と簡単にいいますが無より起き上がられた時が地域内に開かれた「エキスポ'70」と期を同じくして活動開始という事で初代理事長の御苦心の程がお察し出来ます。続く三年間は市民運動への協力で最大の努力をされ、殊に本年は理事長自らベトナムを訪問され同国サイゴンJ Cと姉妹提携される等国際的活動にまで発展されました。その立派な御進展ぶりにはただただ感服するのみです。

吹田ロータリークラブには貴会議所卒業者四名をもつています。将来この会員達がクラブ発展に大きな力となることと信じています。

どうぞ若さの力を以て御活躍の上さらなる御発展の程を心からお祈りしてお祝の辞といたします。

祝 辞



吹田ライオンズクラブ
会長 三 番 忠 雄

吹田青年会議所の皆様が過日万博迎賓館に於て盛大なる五周年式典を催され、また此の度び記念誌を発刊せられることとなり貴会の御活躍御発展誠に御同慶の至りに存じます。

現在の御隆盛の蔭には結成以来五年間の会員皆様の並みなみならぬ御努力御苦勞があったことと推察致します。ふり返って思い起されましたならばその時折の数々の思い出が皆様の脳裏に浮んで来られることと存じます。賢明なる皆様はきっとこの五年間の貴い御経験を活かされ今後の進歩御発展への基盤とされることとございましょう。

現在及び将来の吹田地区の経済界を背負って立たれる若き青年会議所の皆様方が、そのスローガンである「英知と勇気と情熱」をもつて益々深刻化して行く社会情勢の混乱に対処せられ種々の障害を排除し明日の吹田の発展のためにより良き貢献をせられんことを望んで止みません。

この様なときに五周年記念誌の御発刊が如何に立派な計画であり意義あることかと感じ入って居ります。

結成わずか五年にして数々の立派な業績を残され吹田地域社会に多大の御貢献をされておられることを各方面より拝聞し、志を同じうする、私達吹田ライオンズクラブ一同心から御喜び申上げると共に吹田青年会議所の今後益々御活躍御発展を期待し皆様の御健闘を祈念致しております。

終りに会員各位の御隆盛と御家族の御多幸をお祈りしてお祝の言葉と致します。

祝 辞



吹田千里ライオンズクラブ
会長 本橋 清貞

年次ごと、理事長を中心に、力強いスクラムのもとに歩みこられた健脚の業績は、市民意識の調査から健康まつり、キリン草撲滅運動等々、若き人の時代を知るにたる輝しき精華を重ねられ、ここに五周年記念誌の発刊を迎えられたることを寿ぎ、心からお慶び申し上げます。

昨年下半年期から今日に至る、めまぐるしい社会の動きは、わが国における政治、経済の問題にとどまるどころなく、世界的にも激しくゆれ動き、内外ともにきびしい世相の中にあつて、時のテンポに適応した活動の推進、それは会員諸兄の英知の結集と、真の勇氣と情熱が、今こそ一番要求されている時ではないでしょうか。

よりよい 明るい人間づくりの先頭に、団結のもと
清らかな はつらつたる前進を祈り祝詞と致します。

祝 辞



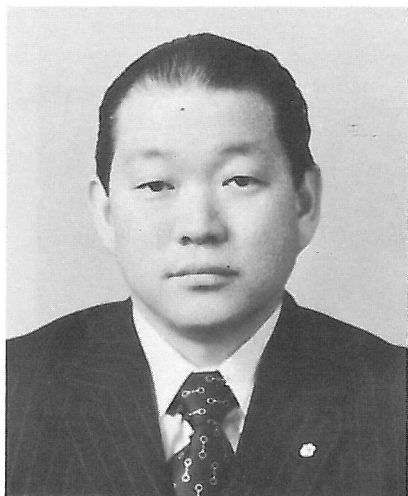
吹田北ロータリークラブ
会長 重松 宣世

吹田青年会議所はあしかけ5年を迎えられ、今年4月には万博記念館に於て盛大に5周年記念式典を挙行せられました。今回記念の冊子を刊行せられるに当り御祝の言葉を述べさせて頂くことを喜んでおります。

本年は国際的にも国内的にも政治・経済の全般にわたり、非常に困難な課題と取組んでいかなければならないことになりました。私共は国際感覚をもっと向上させて世界のよりよい住民の一人となることについて、又もつと広い視野からものをみて判断すること、問題の基盤について更に正確な理解を深めることなど種々の点に至らなさを痛感する場合がありますが、これらの点については特に青年の英知と正義感に期待するものです。

青年会議所の皆様は理想を同じくされ、社会の指導者たらんとする方々の集りであり、青年にふさわしい行動力をもつて、既に地域社会に対しては“市民意識調査”“キリン草撲滅”を初め貴重な寄与を果され、サイゴン青年会議所との交流によつて国際理解と親善に努められ、その業績には私共も敬服するところでありますが、研鑽を積まれることにより、“英知と勇気と情熱”を増巾強化され、若者のアイドルとなられることを信じております。その様な皆様のお人柄がよりよい社会実現への原動力となることを祈つてお祝いの詞に代えさせて頂きます。

祝 辞



日本 J C 大阪ブロック協議会
会 長 福 本 昭 三

吹田青年会議所が創立 5 周年を迎えられましたことを大阪ブロック 28 青年会議所を代表して、お慶び申し上げます。

貴青年会議所が「明るい豊かな町づくり」を目標に全国で 436 番目に設立されてから早くも 5 年の歳月が過ぎましたが、その間貴青年会議所が J C 運動を通じて地域社会に及ぼした影響貢献度は本年大阪ブロックが提唱した「環境問題とキリン草撲滅運動」の推進と実践が地域社会に大きくアピールし、事業参加というよりも運動に参加する地域住民運動になったことで充分に知ることが出来ます。

「社会と人間の開発」を事業目標とする J C 運動は J C 宣言と J C 綱領の精神に則って一つの組織体のなかで、J A Y C E E が「友情、奉仕、修練」の三信条を踏えて地域社会の一住民として社会的国家的な責任を自覚し、行動のなかに理論を見だし外部志向型運動として実践することであらうと思います。

現在の社会では政治的経済的な諸問題が山積し国民生活を圧迫し脅かしています。まさに混迷社会であります。その中で J C が果すべきものは、失敗を恐れず使命感にもえた若い指導者の育成であり、J A Y C E E 自らが地域社会でこれに応えるべきことであると思います。

それは本年貴青年会議所がスローガンとされた「見なおそう、見きわめよう、そして自ら行動しよう」という理論と実践の運動であります。

5 年目という 1 節にたつて過去を振り返り先輩諸兄が残された歴史と伝統を継承し次なる J C 運動の礎として大きく発展して行かねばならないと思います。

今後の貴青年会議所の御発展と会員諸兄の御活躍御多幸を心よりお祈り申し上げます。

記念事業

昭和49年4月29日



万国博広場において第3回「みんなでやろう健康まつり」を盛大にひらく

昭和49年4月29日



万国博記念迎賓館において、五周年式典を開催した

昭和49年4月29日



サイゴンJCとの姉妹締結、及び犬山JC、下田JCとのなかよしJC締結を執り行なう

昭和49年6月21日



吹田市役所正面玄関前の広場に記念樹クスノ木を寄贈する

1970年度吹田青年会議所理事長所信

箕面 J C 諸兄の友情溢れるご指導のもとに4月12日無事創立総会を終え、日本 J C から436番目の J C として正式に加入を認承されましたことは、吾々の大いなる喜びと榮譽に存ずるところであります。

この間、各界関係各位のご理解とご支援、ならびに先輩青年会議所諸兄、とりわけスポンサー箕面青年会議所諸兄の暖かい友情に対し深く感謝する次第であります。

ご承知の通り本年は1970年代の幕あけとして内外ともに諸情勢は緊迫いたし、幾多の難問題をかゝえ歴史的な一大転換期を迎えております。この多事多難な年に皆様方の祝福のもとに盛大に認承証伝達式を迎え、青年会議所運動に参画できる機会を得ましたことは誠に意義深く、かつその責任の重大さを痛感いたしております。

こうした重要な時機に私たち青年はアジアではじめて開催されました日本万国博覧会開催都市に恥じないよう、会員個人個人がこの記念すべき認承証伝達式の感激を忘れることなく、自らを厳しく訓練し、常に市民と共通の基盤の上に立ち、正しいものの見方、考え方をもって、何ものにも屈しない真の英知と勇気と情熱を持って青年会議所運動を一步一步着実に推進し、より明かき、より豊かな、地域社会の開発に努力する覚悟であります。

どうか地元関係各位、先輩青年会議所諸兄、私たち吹田青年会議所の今後の成長のため暖かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



吹田青年会議所
理事長 木村 俊之

1970年度行事報告

- 4月12日
創立総会 於毎日放送ミリカホール
- 6月27日
アサヒビール(株)吹田工場見学 於アサヒビール
- 7月19日
勤労青少年プール招待 於ミリカプール
- 7月24日
万博跡地利用問題懇談会 於市民会館
- 7月29日
万博ホスト・ホステス水泳大会 於ミリカプール
- 8月4日
吹田市制30周年記念 吹田市民の花「サツキ」決定
- 8月18日
定例総会 於市民会館
- 8月20日
市民の花「サツキ」ステッカー配布
- 9月1日
認承証伝達式最終打合せ会 於市民会館
- 9月6日
認承証伝達式 於MBSミリカホール
- 9月14日
吹田市民の花副賞授与 於事務局
- 9月24日
臨時総会 於梅田たこ梅
- 10月17日・18日
名古屋会員全国大会参加
- 11月7日
新入会員オリエンテーション 於ビジネスセンター三水
- 11月20日
経済活動委員会のセミナー開催 於市民会館
- 11月28日
ボウリング大会 於ミリカスポーツランド
- 12月27日
家族忘年会 於ミリカフレンドルーム

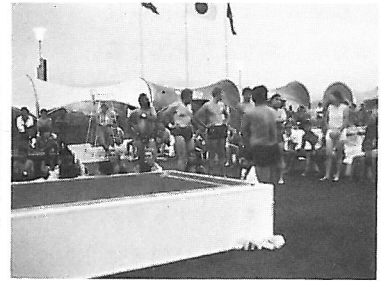
青年会議所創立総会記念式典



4月12日 創立総会

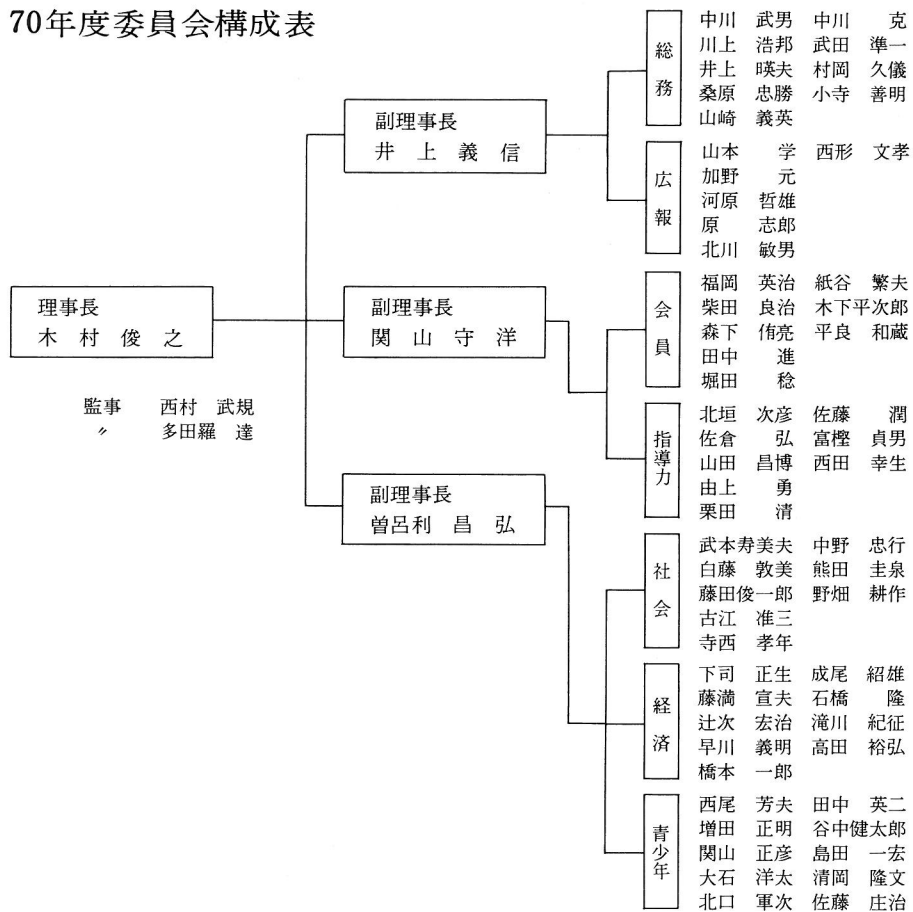


9月6日 認証伝達式



7月29日 万博ホスト・ホステス水泳大会

70年度委員会構成表



1971年度吹田青年会議所理事長所信

私達吹田青年会議所は日本青年会議所より全国で第436番目の青年会議所として正式に認承を受け、昭和45年9月6日に栄えある認承証伝達式を挙げる事が出来ました。これは偏えに皆様方の絶大なる御支援の賜と心より厚く御礼申し上げます。

さて、吹田青年会議所も昭和45年度は創立総会、認承証伝達式という大きな事業

に没頭致しまして、各委員会も活動らしき活動が出来なかつたのであります。昭和46年度は各委員会が活発に活動する年があります。私はいかなるJC運動を展開するにも各メンバーが同志であるという意識が第一条件であり、運動に参加することにより、多くを学び、そして指導力も自然に身につくものであると信じております。その意味からも私は、昭和46年度は各委員会が積極的に活動出来るよう会員の“和”が何よりも大切でありますので、一日も早くメンバー間の名前と顔が一致するように努力致したいと思っております。

万国博覧会開催都市として吹田市は飛躍的な発展をとげてまいりました。この激動の時期に吹田市の経済、社会、文化を發展させる原動力は若き青年の情熱であり英知であり、又行動力であると信じます。そして郷土の發展を願い、世界の平和と繁栄に寄与することを目的とする吹田青年会議所メンバーが結束をさらに強め常に研修に励み、地域社会に密着した事業を積極的に推進し、吹田市發展の原動力となることを確信しております。今後共皆様の絶大なるご指導ご鞭撻をお願いして所信と致します。



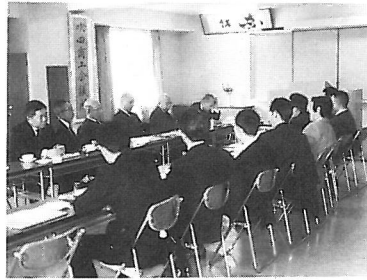
吹田青年会議所
理事長 曾呂利 昌 弘

1971年度行事報告

- 1月9日
新年賀会 於朝日会館
- 1月27日
定時総会および定例会 於ビヤホール
- 2月24日
日刊紙記者クラブと対談 於なるを
- 3月2日
商工会議所の方と各理事、副委員長との懇談会
於商工会議所
- 4月24日・25日
生駒イングリッシュセンター
- 4月29日
大阪JC排気ガス調査協賛吹田JC
千里中央センター
- 5月12日
市民大集会 於市民会館
- 6月12日
近畿ココロラボトリング(株)工場見学
- 6月12日～7月28日迄
LIA説明会を7回にわけて行う 於市民会館
- 7月24日・25日
家族会 大津の名鉄マリーナホテル一泊旅行
- 9月7日
4JC合同例会 豊中市民会館
- 9月24日
排気ガス運動実施
- 10月8日
JCニュースNo.2発行
- 10月22日
吹田JCコンペ 箕面カントリー
- 11月6日
経営者セミナー 市民会館
- 11月22日
第3回家族ボウリング大会 MBSミリカレン
- 12月18日
定例会 クリスマスパティー ミリカホール
- 12月24日
交通遺児スケート大会



1月9日 新年賀會

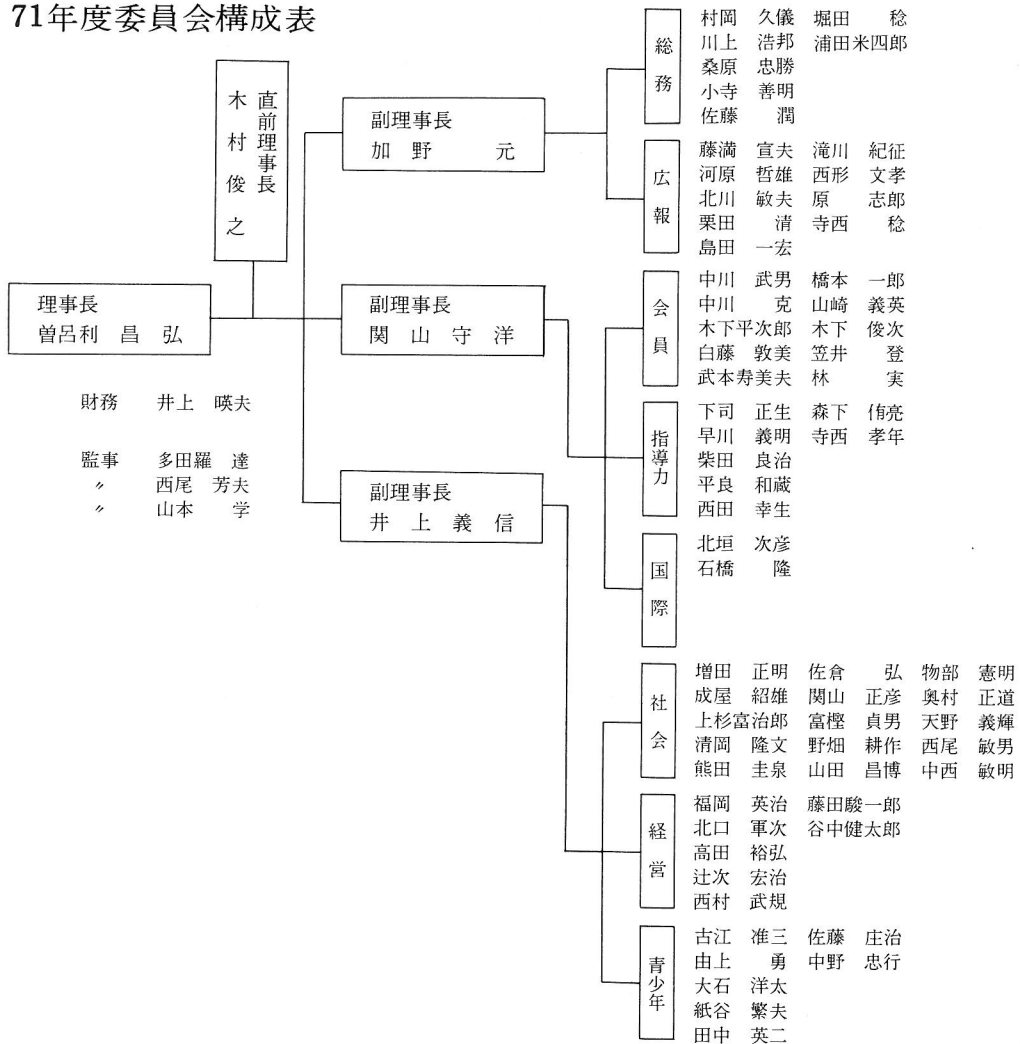


3月2日 商工會議所理事者と懇談



12月24日 交通通児スケート大会

71年度委員会構成表



1972年度吹田青年会議所理事長所信

当、吹田青年会議所は今年で設立三年目を迎えます。第一年度は設立及び認承証伝達式の準備に、第二年度は会員相互の和に重点が置かれました。そして第三年目はいよいよ本来の青年会議所運動に着手する年であります。

申すまでもなく青年会議所運動の根幹は「明るい豊かな社会」を築きあげることにあります。一口にこう

いっても解決せねばならない問題は山積しております。私共、青年会議所が社会開発の事業を展開する前に、その山積した問題の中から、何が最も緊急に且つ重要な問題であるかを選ばなければなりません。つまり、社会開発に先だつ明確な目標の設定にあります。市民が何をどう感じているか、何を市に望んでいるのか、それを把握する為に先ず今年度は「市民の意識調査」に取り組みたいと思っております。

もとより「意識調査」の結果が、次年度からの青年会議所運動の礎石となるわけですから、薄弱な資料であってはなりません。綿密な計画と慎重な態度で十分に信頼出来る資料としなければなりません。「意識調査」それ自体は青年会議所運動にとって決して華々しいものではありませんが、それを消化する為にはかなりの労力と時間が要求されます。

更に、前年度からの継承事業として「ノーカーデー運動」と「排ガスの点検と調整」が、そして大阪ブロック協議会の統一事業である「青少年問題」があります。

今年度の日本青年会議所会頭は「ヤングブルー計画」を打ち出しました。「ヤングブルー計画」とは一口に言って、J C運動を会員のみでなく会員を取り巻く全ての若人達をも巻き込んで、更に大きな渦にしようというものです。当会議所に於いても又しかり、我々会員の一人一人が運動展開の核となる自覚の上に市民ぐるみの大きな流れをつくり出そうではありませんか。年初にあたり、会員諸氏のご協力のご鞭撻をお願いして所信と致します。



吹田青年会議所
理事長 井上 義 信

1972年度行事報告

- 1月8日
新年賀会 於朝日会館宴会場
- 2月22日
第一回新入会員オリエンテーション
於ホリデーボウルミーティングスクール
- 3月9日
英会話講演会 於摂津信用金庫吹田支店
- 3月13日
大阪府傍聴会議 於大阪府庁自由民主党控室
- 4月18日
3万人対話集会 於堺市民会館
- 4月22日・23日
L i A 会議 於ビジネスセンター三水
- 5月11日
公害監視センター及公衆衛生研究所見学
於集合同所市役所前
- 5月12日
市民代表者との懇談会(社会福祉、保健、衛生関係)
於市民会館
- 5月15日
市民代表者との懇談会(生活環境、行政、教育関係)
於市民会館
- 5月16日
市民代表者との懇談会(労働、経済、都市計画、消費
経済関係)於市民会館
- 5月21日
親と子供の健康まつり 於万博跡地
- 6月10日・11日
沖縄復帰記念大会 於那覇
- 6月14日
招聘青年を迎えてのティパーティー
於千里阪急ホテル
- 7月6日・7日・8日
ブロックK J法セミナー 於三水
- 7月29日・30日
家族会 名鉄マリーナホテル
- 9月7日
第一回L i A 会議 於市民会館
- 9月14日
第二回L i A 会議 於市民会館
- 9月21日
第三回L i A 会議 於市民会館
- 9月25日
一日交通指導員
- 10月14日
全国大会 於甲府
- 12月20日
孤児スケート大会 於ミリカスポーツランド



市民意識調査

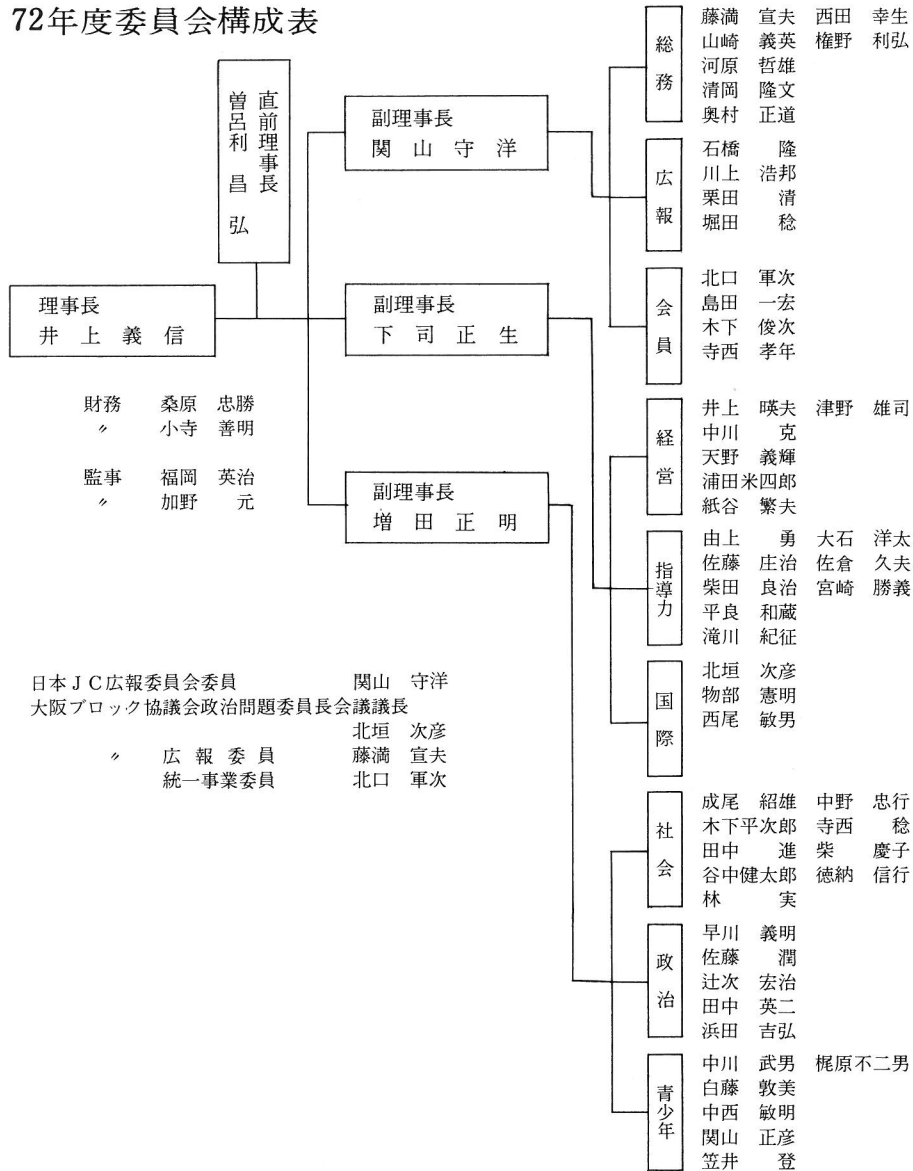


一日交通指導員



児童英会話教室開催

72年度委員会構成表



1973年度吹田青年会議所理事長所信

1973年は吹田青年会議所の大きな目標の第一歩を踏む年であります。日本青年会議所のカテゴリーNo.1にあげられたA O Y（青少年開発）とC D（社会開発）の完全な2本のレールは、我々吹田青年会議所としては若年の為、地元吹田市に於いて非常に難かしい始動と考えねばなりません。

市の方針も本年は青少年活動への限りない意欲を示

していますので、ここで我々は、あくまで日本J Cの基本目標を踏まえ、地元吹田市の目的にもそい、先ず真の住民意識を育てる為の市民の語らいの場を作りたいと考えています。ここで「J・C運動は市民の中で」を提唱します。昨年の意識調査の結果でも明らかな様に、市民は、特に若者は、市民運動に積極参加の意志を示しておられます。吹田市の未来を描く時、この若い世代の人達の声が生かさねずして市の発展は望めません。昨年のテーマを引き継ぎ、「みんなの力で、明るく住みよい吹田市を築こう」を市民運動のテーマに採用し、若者（ブルー・カラー）の輪を広げて行きたいと考えています。

「ブルーライン作戦」。私は若者の輪を広げる運動にこの名前をつけました。このブルーライン作戦で、昨年の意識調査に表われた市民の声を、1ツ1ツ着実に取り上げて、明るい住みよい町づくりに専念したいと考えています。会員諸兄が、自分の仕事の時間をさいて、郷土吹田市の町の為に投資するこの貴重な時間を、決して無駄にならないよう頑張ります。

年初にあたり、会員諸兄の愛情あるご協力のご鞭撻をお願いして私の所信と致します。



吹田商工会議所
理事長 増田 正 明

1973年度行事報告

- 1月8日 新年賀会 於大同生命ビル
- 1月27日 大阪ブロック家族会 於サンケイホール
- 1月29日 総会 於多幸梅
- 2月7日 日刊紙記者との懇談会 於なるを
- 2月14日 ローカル紙記者との懇談会 於なるを
- 3月5日 第3回夫人の集い 於牡丹苑
- 5月1日 広報夫人インタビュー 於なるを
- 5月13日 親と子と土の一日(ブロック統一事業) 於千里北公園
- 5月18日 公式訪問 於ビヤホール
- 5月23日 アジア青年の船激励会 於三水
- 6月3日 近畿地区会員大会 於万博会場
- 6月3日 社団法人日本青年会議所近畿地区協議会より社会開発賞表彰される
- 6月20日 市理事者との懇談会 於市民会館
- 6月22日 新入会員オリエンテーション 於フタバボール
- 6月26日 第4回J C夫人の集い 於ミリカロイヤルルーム
- 7月4日 理事、OB懇談会 於多幸梅
- 7月15日 1973年国家問題会議 於東京プリンスホテル
- 7月23日 次年度選考委員会 於千里阪急ホテル
- 7月28日・29日 家族会 於名鉄マリーナホテル
- 8月2日 吹田市青少年団体代表者会議 於市民会館第7会議室
- 8月18日 総会 於月光園
- 9月12日 ベトナム公式訪問団オリエンテーション 於千里阪急ホテル
- 9月16日 大阪ブロック会員大会 於ロイヤルホテル
- 9月16日 社団法人日本青年会議所大阪ブロック協議会より優秀J C賞表彰される
- 10月10日～10月17日 ベトナム公式訪問
- 10月20日 全国大会 於宝塚
- 10月28日 子供カーニバル 於北千里公園
- 11月3日 みかん狩り 於岸和田方面
- 11月7日 吹田市青少年団体協議会 於市民会館
- 11月10日 L I A会議 於市民会館
- 11月17日 座禅の会 於円満院
- 12月1日 大阪ブロック本会議 於三水
- 12月16日 家族会、卒業式 於ミリカフレンドルーム
- 12月20日 孤児招待スケート大会 於ミリカスケートリンク



5月13日 親子と土の一日

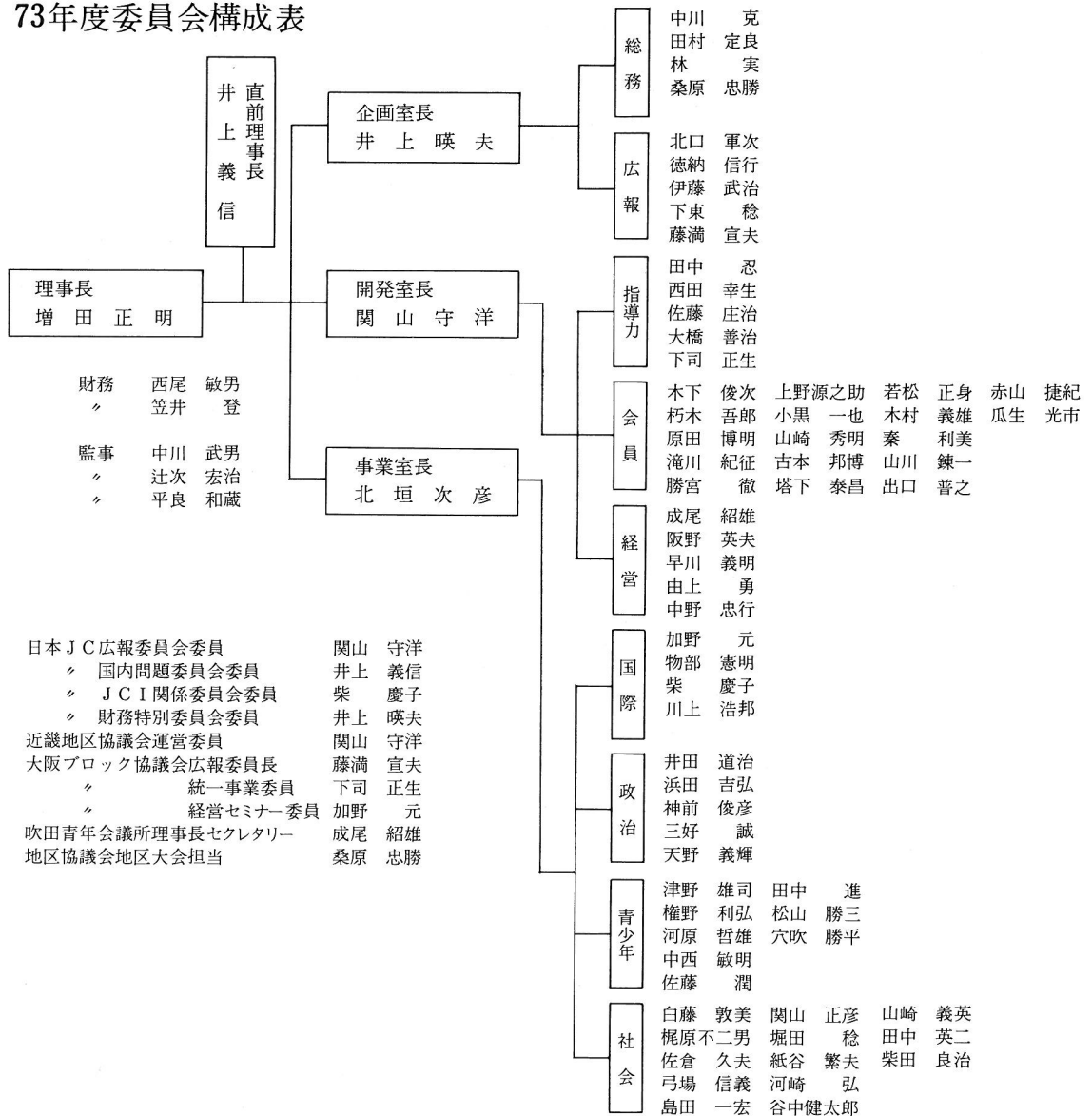


9月12日 ベトナム公式訪問団オリエンテーション



10月28日 子供カーニバル

73年度委員会構成表



1974年度吹田青年会議所理事長所信

私達吹田青年会議所は、ここに5年目を迎えました。人類の進歩と調和を唱う祭典の申し子として吹田での青年会議所運動はスタートしたのであります。あれからわずか5年目の今日、激動する世界状況は、東の間の安楽を味わっていた我が国に再び試練を与えようとしています。しかしながら資源の乏しい我が国にとって過去10余年に亘る華々しい



吹田青年会議所
理事長 関山守洋

高度成長と見かけの繁栄は、残念乍ら世界の加工工場、下請工場といっても過言でない日本としては、將に異常であったのかも知れません。科学技術と経済の発展を基礎に、より管理社会化してゆく現代社会に、ようやく反省の時期が来たのであります。人間性疎外の社会から、自然と人間が調和する社会への転換であります。私達吹田青年会議所も創立以来高度に成長して参りました。五周年の今年こそ、現在までの運動について反省し、次なる発展のために新しい価値観を求めて行動を開始すべき時であると考えます。本年は多くのメンバーが日本J Cその他に出向してくれました。彼らは必らずや新しいJ C運動の動向をフィードバックしてくれる事でしょう。一方では増田直前理事長を中心に、青少年問題を主体にした5周年記念事業の準備が「健康まつり」をメインに着々と進んでいます。豊かな人間性の確立は我々が理想とする明るい豊かな社会の実現につながるものであります。次代の吹田市民が豊かな人間性を持つための布石の一つになれば幸いです。自らの意思で、自発的に青年会議所運動に参加された諸君ですから、これら諸事業に参画する事はもちろん、その事を通してJ A Y C E E一人一人が先ず自らを新しい角度から見直し、地域社会のリーダーとしての自分を見きわめ、新しい価値観の下に行動しようではありませんか。

1974年度行事報告

- 1月9日
新年賀会 於サニーストンホテル
- 1月25日
総会 於多幸梅
- 1月28日
ローカル紙記者との懇談会 於なるを
- 1月30日
健康を考える大阪会議 於千里阪急ホテル
- 2月23日
大阪ブロック新入会員セミナー 於三水
- 2月24日～25日
味楽会 於三朝温泉
- 2月26日
健康まつりプロジェクト会議 於関山宅
- 2月27日
健康を考える大阪会議 於大阪J C
- 3月4日
健康まつりプロジェクト会議 於サニーストンホテル
- 4月2日・9日
健康まつりチーフ会議 於サニーストンホテル
- 4月10日
健康を考える大阪会議 於サニーストンホテル
- 4月13日
3 J C 犬山、下田、吹田理事交歓会 於名鉄犬山ホテル
- 4月16日・23日
健康まつりチーフ会議 於サニーストンホテル
- 4月24日
健康を考える大阪会議 於サニーストンホテル
- 4月29日
5周年記念事業健康まつり 於万博跡地
- 4月29日
5周年記念式典 於迎賓館
- 5月12日
近畿地区会員大会 於舞鶴
- 6月9日
統一事業キリン草撲滅運動 於吹田市一帯
- 6月21日
5周年記念植樹 於市役所前
- 7月17日～25日
すず虫作戦 於市内小学校・幼稚園
- 7月28日
犬山J Cとの交歓会 於多幸梅
- 7月12日
新入会員オリエンテーション 於アサヒビール
- 7月18日
公式訪問 於サニーストンホテル
- 7月28日～29日
家族会 於名鉄犬山ホテル
- 8月19日
総会 於アラスカ
- 9月24日～25日
吹田まつり(くろんぼ大会) 於北千里プール



6月9日 統一事業キリン草撲滅運動

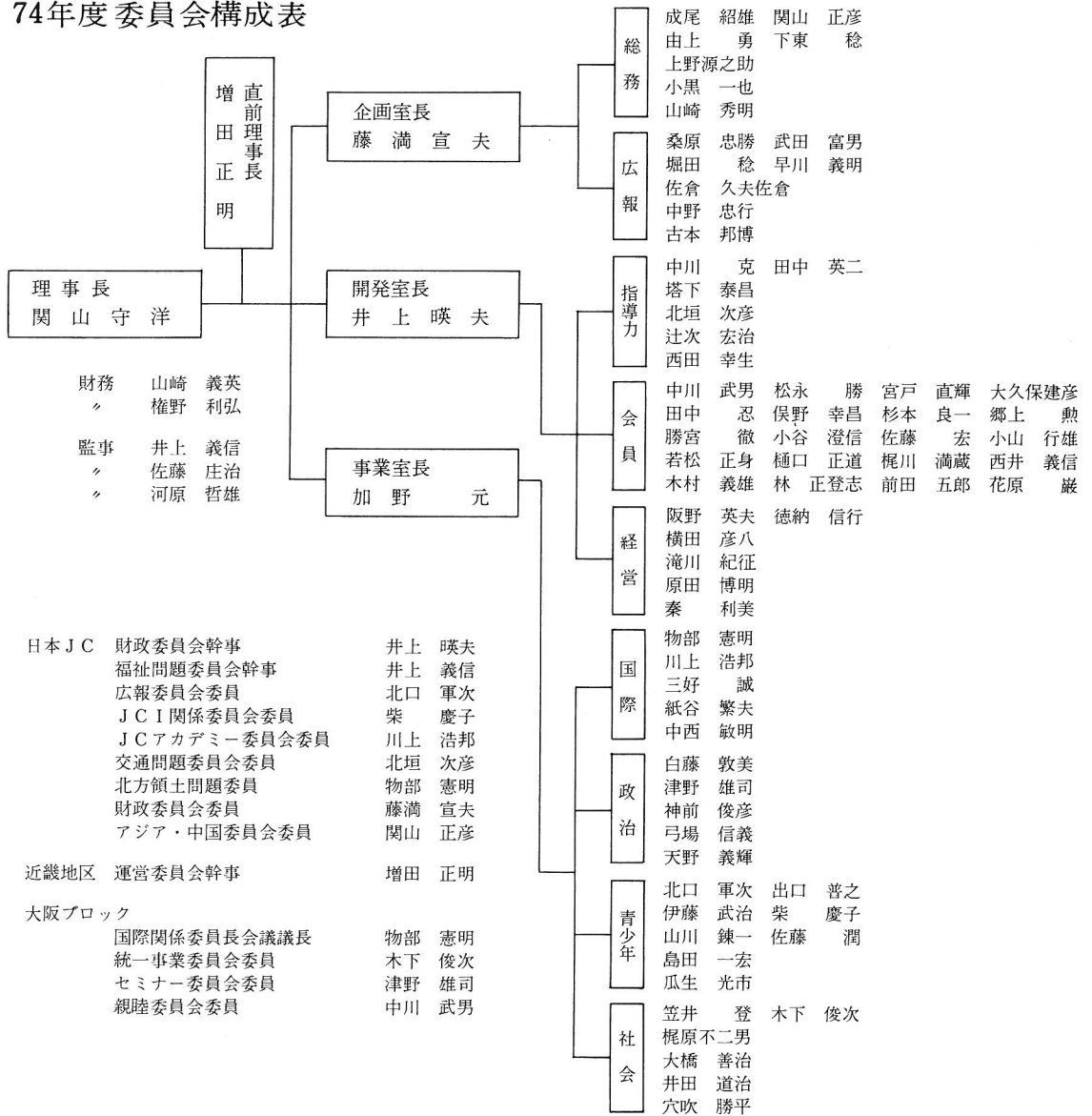


7月17日～25日 すず虫作戦



9月24日～25日 吹田まつり(くろんぼ大会)

74年度委員会構成表



●歴代理事長対談

出席者

初 代理事長 木 村 俊 之

二代目理事長 曾呂利 昌 弘

三代目理事長 井 上 義 信

四代目理事長 増 田 正 明

五代目理事長 関 山 守 洋

司 会 桑 原 忠 勝



写真右より 司会 桑原会員、木村(初代)、曾呂利(二代)、井上(三代)、増田(四代)、関山(五代)各理事長

設立後5年目を迎える吹田青年会議所は、この間、総合的な基礎づくりからはじまって「市民の意識調査」の実施、青少年関係団体、自治会連合協議会など各種団体と協力し「明るい豊かな地域社会」の実現をめざしています。昭和49年9月9日サニストーンホテルにおいて歴代理事長 木村俊之先輩、曾呂利昌弘先輩、井上義信君、増田正明君の四氏と現理事長関山守洋君に集って頂き、過去における苦心談やエピソード、現在、又は未来の吹田青年会議所に対する意見や要望を大いに語って頂きました。

司会 本日はお忙しいところをお集まりいただきまして有難うございます。吹田JCは1970年に設立され五年目を迎えましたがその間「住みよい明るい街」の実現をめざしていろんな事業が展開されてまいりました。そこで今日、歴代理事長のご経験やご意見を賜りたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

まず最初に吹田JC設立の年理事長をされていましたが、木村俊之先輩にその時のご苦労話をお聞かせいただきたいと存じます。

木村 最初、平良君より青年会議所をつくろうといわれて井上君、中川君の4人が集まりました。私はあまり吹田の町を知らなかったので平良君がよく活動してくれました。推薦書を持ってあちこちとまわり市長のところへも行って協力をお願いしました。のち曾呂利君、山本君らが入りメンバーがだんだんそろって吹田市民会館で第1回の会議をしましたがそれが始まりでしたね。

司会 そのように苦労して作られた訳ですが、その年に日本青年会議所から正式に認められミリカホールにおいて認証伝達式が行われましたがこれも大変苦労されたと思いますがどうでしたでしょうか？

木村 苦労といっても僕一人じゃなくて皆んなの努力でやりとげましたね。でも、やはり今は亡なられたスポンサーである箕面JCの拡大委員長鈴木さんにはすごくお世話になったんですよ。今のメンバーは知らない人が多いけれど

本当にいい人でした。

司会 つぎに、71年度の理事長でありました曾呂利昌弘先輩にお伺いしたいのです。所信にも書いてありますとおり会員の和を最重点におかれましたがその時のお考えをお聞かせ下さい。

曾呂利 初代理事長のときは、4月に設立し9月に認承式を行なったので必死で前に走ったわけなんです。毎日放送の協力もあって大変成功し立派な会は出来たのです。それで今度は会員同志の顔と名前を一致させないかんと思って、飲み食いはしたけれどおもしろおもしろおかしい会を作った方が何かと今後のため動きやすいと思ったので内部の和を固めたわけです。

司会 いよいよ三年目を迎え、その時理事長をされた井上義信君は市民の意識調査を重大目標とされその結果市行政その他各方面に大きな影響をおよぼし、また、吹田JCのその後を事業の核にもなりましたがその計画をされたときのご心境をお聞かせ下さい。

井上 一応曾呂利君の時で内部の会員の和を固めて下さったわけでその段階では、我々はまだ青年会議所運動についての認識があやふやだったし3年目を迎えやっとレールにのつたところでC.D.活動をしなければならぬと思い、地域開発の運動をやるに際しては現状の把握が必要なのでその動機からこの事業を推進したのです。

またC.D.活動を全員でやったということはメンバー一人一人青年会議所運動についての認識が深められたことと思います。この大きな事業を一年で実行出来たということは、その当時実行委員長であった増田君の努力に負うところが大きかった。そしてそれは吹田青年会議所のパワーを十分発揮出来た時であったといえますね。

司会 有難うございました。ではその実行委員長で4年目の理事長をされた増田正明君にお伺いしたいと思います。増田正明君は「みんなの力で明るく住みよい吹田市を築こう」をテーマに事業を行なわれたわけですが、その時のお話しをお願いします。

増田 前年度の意識調査を無駄にしたらいかんということで、また、J C だけでやって J C だけで満足するのは何んの意味もないと思うし意識調査では吹田市民の若い世代は社会活動に意欲があるとわかったのでそれに目をつけ市民を参加させる事業をやらんとあかんと思い青少年関係や自治会関係をいろいろあたっていたわけです。そして十周年には市民のだれ一人として吹田 J C の存在を知らない人がないよう全市民に覚えさせたい、この年が十周年までのたとえ小さなすて石にでもなったらいいと思って運動を行ったのです。

司会 なるほど十周年目の吹田 J C を考えその第一歩としての基礎づくりを行なわれたわけですね。

さて、それでは設立五年目という一つの節を迎えて本年度理事長の関山守洋君のお話しをお願いします。

関山 本年度は今までの理事長のご努力でついている年になりましたね。青年会議所活動は何んやということをもう一度見直すためスローガンとして「見直そう 見極めようそして自ら行動しよう」を掲げました。本年度は五周年記念事業としてサイゴン J C との姉妹提携、仲よし 3 J C、健康まつり、式典他いろいろやつて来ましたが、それも吹田 J C が非常に成長してきたということです。

まず第一にブロック、地区、日本 J C とのパイプを果すメンバーが多く出向し、理事会の雰囲気も民主的になり青年会議所として大切な内部の形が出来てきた。そして市民から青年会議所へのアピールがある、新聞にもよく載る様になり又、新しく入ったメンバーも大変アクティブになって来た。等本年度は膨張しきったと思いますね。

司会 どうも有難とうご座居ました。これまで過去 5 年間の吹田 J C の経過やご苦労話をお聞きしたわけですが、では現在の吹田 J C に対するご意見や要望をお話いただきたいと存じます、まず木村先輩からお願い致します。

木村 そろそろ J C 運動はあまり派手なことをしないで地味な事をしていかなければと思いますね。それから経営開発委員会を軽視されているようだから活発にしてほしいと思いますね。

増田 いえ、軽視されているのではなく、今まで余裕がなかったと思いますよ。初代、社会開発委員会も粗末にあつかわれていたけれど、メインは社会開発と大阪ブロック役員から公式訪問でいわれあわてたこともあります。経営開発委員会も、ポチポチその時期に来たのではないでしょうが。

関山 大阪 J C のように、巨大な J C と違って各セクションをうまく分けてやってゆくのは不可能、予算の面にしても…。やはり青年会議所のメインの事業は社会開発。社会と共に歩むということから、吹田市民と共に十周年までのピシッとした基本路線が引かれ、すべての事業がそれに関連をもって展開出来るそういうビジョンを作れたということは、やはり正しいことやと思います。今までの活動にし

てもメンバーが無理なく参加出来るというだけで青年会議所のメンバーとしてのトレーニングに十分な場はあたえられていると思います。

来年は、膨張しきった吹田 J C をうまく収束してほしい。L O M 自体をしつとりともつてゆく来年は、貴重な年やと思う。そろそろ「考える J C」にならんとあかんと思いますね。

司会 今もお話があったと思うのですが、青年会議所として将来どうあるべきかということを一入ずつお聞かせ下さい。

木村 今も関山君がいった様に考える青年会議所が必要だと思いますね。ただ走るだけでなく……

曾呂利 吹田は吹田だけのローカル色のある様にせんとあかんな！ 非常に家庭的なムードを作るとかね……。

それから広報紙は夫人がよく見るということは、関心をもっている証拠やから、J C とはこんなもんやと奥さんに知らすべきやと思う。

関山 今後、O B がきやすく例会に出席できるよう、O B 会でそんな雰囲気をつくってほしいですね。

井上 これからは、吹田が成長していく上で地域開発を打ち上げていくわけやから、メンバー一人一人が国家的なものの考え方を把握した上で、地域開発問題をさぐっていくというような事をぼつぼつやっていく必要があるんじゃないかと思う。

曾呂利 それから、基本をくずさん程度のおもしろおかしくしていく例会にして集まっていたくのがいいんじゃないかな。昼間は一生懸命仕事をしているんやから……。

増田 さっきから考える J C とよくいわれているが、ぼつぼつその時期がきたと思います。メンバーだけの経営者開発の材料じゃなくてメンバーで十分研究されたものを吹田の各企業に案内して社長さんや部長さんらがすすんで申し込みにくる様なセミナーを企画したらいいと思う。これもやはり市民参加になるでしょう。

メンバーのためになり、市民のためになる企業帯、商工会議所の力をかりて幅広いセミナーを考えたらいいと思う。又、将来十分吹田 J C はやつていける L O M と思う。

まだ膨脹してもあぶくない場所にいると思う

司会 本日は大変貴重な時間を歴代理事長 5 名の方にいただきまして、苦労話とか貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

今後益々吹田青年会議所が発展していくことを祈念してこの対談を終らせていただきます。

(昭和 49 年 9 月 9 日サニーストンホテルにおいての対談記録より抄録しました。)

たたら たつ
多田羅 達

- ① 昭和6年9月2日
- ② 〒662 西宮市上之町5-21
- ③ 0798-65-1566
- ④ 大昭建設株式会社
- ⑤ 〒532 大阪市淀川区西中島町4-8-11
- ⑥ 06-304-1117
- ⑧ O B 会員



ふく おか えい じ
福岡英治

- ① 昭和7年12月18日
- ② 〒564 吹田市南金田1-1-13
- ③ 06-384-5658
- ④ 株式会社 丸福工務店
- ⑤ 〒564 吹田市南金田1-1-13
- ⑥ 06-384-5658
- ⑧ 特別会員



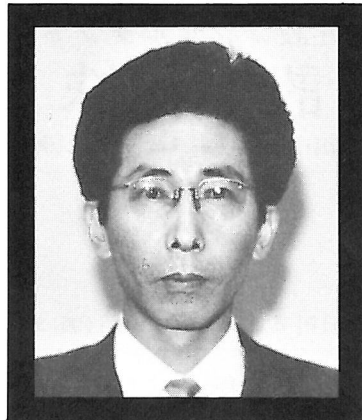
やま もと まなぶ
山本学

- ① 昭和6年3月28日
- ② 〒565 吹田市山田西1-22 A6-208
- ③ 06-877-3570
- ④ 株式会社 毎日放送
MBSスポーツランド
- ⑤ 吹田市千里丘北1-2
- ⑥ 06-877-5555
- ⑧ 特別会員



こ たら よし あき
小寺善明

- ⑨ 昭和47年3月14日 死去
- ⑩ 45年 総務委員会
- 46年 〃
- 47年 財務理事



にし お よし お
西尾芳夫

- ⑨ 昭和47年1月19日 死去
- ⑩ 45年 青少年開発委員長
- 46年 監事

税理士 井上 暎 夫 事 務 所

大阪市西区京町堀 1 丁目 126 番地 京町堀会館内 電話 (06) 443-3610

クボタハウス代理店

サニーハウジング株式会社

大阪市東区谷町 1 丁目 10 番地 電話 (06) 942-3281(代)

米穀・和洋酒・食料品

中 川 商 店

吹田市岸部小路951番地 電話 (06) 388-2107・389-5108

精密型打鍛造専門

吹 田 鍛 工 株 式 会 社

吹田市川岸町 6 番 9 号 電話 (06) 381-0017

ガラス金型製造

佐 藤 精 機 株 式 会 社

吹田市原町 3 丁目 31 番 2 号 電話 (06) 388-7054(代表)

建設コンサルタント

新 都 市 設 計 株 式 会 社

本社 吹田市七尾 7-1 電話 (06) 387-0371

割 烹 ・ 寿 司

な る を

吹田市朝日町 5 番 26 号 電話 (06) 381-0817

電気・ガス・熔接・製缶製作一式

木 村 熔 接 工 業 株 式 会 社

吹田市西御旅町 1-16 電話 (06) 381-0270・2382

土木建築総合請負業

株 式 会 社 堀 田 工 務 店

吹田市上山手町 20-3 電話 (06) 388-7391

総 合 建 設 業

株 式 会 社 由 上 組

吹田市寿町 1 丁目 8-17 電話 (06) 381-0234・383-0713

白衣・事務服・ユニフォーム販売

河崎白衣店

吹田市高浜町3の1 電話(06)381-4443

関西新聞社

本社 大阪市東区内本町橋詰町31 電話(06)941-6001

土木建築設計請負

株式会社白藤工務店

吹田市千里山月が丘1-14 電話(06)388-2621

総合カーサービスセンター・レストラン

株式会社サンパーク

吹田市大字東92-2 電話(06)388-0386

医療法人 松柏会

榎坂病院

吹田市江坂町4丁目32 電話(06)384-3365

川上歯科医院

川上陸郎・川上浩邦

吹田市昭和町10-16 電話(06)381-1784

風速計・騒音計・データ処理装置各種試験機

日本科学工業株式会社

吹田市清水2-1 電話(06)877-0443

ブティック

サント・ノーレ

大阪市東区玉堀町534 電話(06)768-5735

和洋家具販売

みのや家具株式会社

吹田市高浜町4-43 電話(06)381-0422・0423

土木建築総合請負

株式会社曾呂利組

吹田市元町8-14 電話(06)381-0690・5626

一般貨物運送
新栄運送株式会社

吹田市南吹田5丁目33-20 電話(06)384-0418・5013

学校法人小曾根学院

理事長 関山正彦

吹田市小曾根1丁目200番地 電話(06)331-1646

美しいきもの
松岡呉服店

吹田市末広町8-34 電話(06)381-2410

手造りの紳士服
司屋株式会社

大阪市東区京橋1丁目7マーチャンダイズ郵便局私書函107号 電話(06)943-3100

畳と内装工事一式
西田産業株式会社

本社 大阪市東区瓦町5丁目35 電話(06)231-7232
千里山支店 吹田市千里山西5-3-1 電話(06)384-6801
東京支店 東京都世田ヶ谷区上祖師ヶ谷1-7-2 電話(03)307-0391

アルミサッシ・プレハブ住宅内装パネル
株式会社井上昇商店

吹田市内本町1丁目18-4 電話(06)381-5221(代)~5

近畿コカ・コーラボトリング株式会社

大阪府摂津市千里丘7丁目9番31号 電話(06)387-1151

新しい時代の建築材料店
天野鋳金株式会社

吹田市高浜町9番13号 電話(06)381-5585~6

日産プリンス大阪販売株式会社吹田支店

吹田市広芝町3番28号 電話(06)384-2481(代)

日本触媒化学工業株式会社吹田製造所

大阪府吹田市西御旅町5番8号 電話(06)381-1751(代)

経営コンサルタント

田 中 忍 事 務 所

大阪市東区北浜 2 丁目北浜ビル日本マンパワー内 電話 (06) 231-1248直通

土木・建設・推進工事請負

株式会社 紙 谷 工 務 店

吹田市江坂町 3 丁目 3 番 1 号 電話 (06) 385-1701大代表

大同生命保険相互会社

吹田市江坂町 1-23-101 電話 (06) 385-1131

建築・設計施工請負

株式会社 丸 福 工 務 店

吹田市南金田 1 丁目 1-13 電話 (06) 384-5658・6947

コンクリートポール・トラフその他第二次製品

みすまる商事株式会社

吹田市寿町 1 丁目 1 の 1 電話 (06) 383-6221

一般貨物運送

中 川 運 送 店

吹田市南高浜町 11-17 電話 (06) 381-0544

電気工事一式

津野電気工業株式会社

吹田市千里山東 1 丁目 18-6 電話 (06) 388-3945

崎 中 歯 科 医 院

崎 中 忠 幸

吹田市高浜町 2-5 電話 (06) 382-1513

建築・設計施工請負

株式会社 木 下 工 務 店

吹田市高浜町 4-33 電話 (06) 381-9564

池 田 俊 法 律 事 務 所

弁護士 奥 村 正 道

大阪市北区兔我野町 67 梅田グリーンビル 6 F 電話 (06) 312-4112

ゴルフ用品全般・カップ・トロフィー
株式会社 ミリオンスポーツ

神崎川店 豊中市大島町2丁目1の6 電話(06)333-0398
豊中店 豊中市夕日丘1丁目5の3 電話(06)853-0843

ビル管理
汐見装美株式会社

大阪市淀川区西中島5丁目9-6 電話(06)303-4793

御誂え服
平洋服店

吹田市川園町26-16 電話(06)381-8656

美術ドアとアーチ枠
有限会社 サシヒロ

吹田市大字小路900番地 電話(06)389-3326

高級建具製造販売
弓場建具店

吹田市江坂町3-17-10 電話(06)384-1996

ねじ製造
株式会社 藤満製作所

大阪市西区九条南2-3-28 電話(06)581-5200

土木建築総合請負
株式会社 田中組

吹田市千里山東2-21-40 電話(06)388-4436

栄観光株式会社

吹田市山田下4017 電話(06)877-5732

建築鉄骨塗装一式
株式会社 伊藤塗装店

吹田市津雲台6丁目10の4 電話(06)871-3864

舗装道路修理全般
復建コンクリート工業株式会社

吹田市千里山西4丁目26-2 電話(06)384-2618

一番愛想の悪い店

喫茶・グリル H I R O

摂津市千里丘2丁目12の27(千里丘交叉点西100m) 電話(06)387-8903

美容室

サロン ド ボーテ Y T

吹田市垂水町2丁目2-36 電話(06)385-9577

一般土木ならびに道路舗装請負

大日本建設富士道路株式会社

大阪市東区元伊勢町537 電話(06)942-0731

球質の良くわかる練習場

千里 ゴルフ クラブ

吹田市千里山西4丁目59番地 電話(06)385-0988

綿ハンブ・合繊ハンブ各種産業資材

俣野株式会社

大阪市淀川区西中島2丁目11の29 電話(06)302-5671

古本法務総合事務所

事務所 吹田市高浜町10-18 電話(06)381-8908

店舗改装・造作工事・展示装飾

株式会社 ナニワ巧装

大阪市浪速区東関谷町2の5 電話(06)633-7035

業務用乳製品は当店へ

下 東 牛 乳 店

吹田市佐井寺1丁目29番14号 電話(06)388-6645

空調・給排水衛生設備工事設計施工

サンエス設備工業株式会社

東大阪市横沼町2丁目10番地 電話(06)724-3899

総合建設請負

井上工業株式会社

大阪市東淀川区上新庄町2-6 電話(06)328-7555

教育コンサルタント
日本コミュニケーション研究所
大阪市東区谷町3丁目14-4 新谷町ビル5Fの11 電話(06)943-1765

株式・公社債
八千代証券株式会社大阪支店
大阪市東区平野町2丁目10 平和ビル 電話(06)203-0451

服飾・はきもの・付属品の総合商社
森藤株式会社
大阪市東区唐物町4-23 電話(06)252-3551

共学館
吹田本館 吹田市寿町1丁目17-2 電話(06)382-1152
千里山センター 吹田市千里山東2丁目27-15 電話(06)387-2420

北垣歯科
大同生命5F 電話(06)385-6977

正露丸
大幸薬品株式会社
吹田市内本町3丁目34-14 電話(06)382-1021

ファミリースポーツの殿堂と中国料理
MBSスポーツランド
吹田市千里丘北1番2号 電話(06)877-5555

サニーストンホテル
吹田市広芝町10-3 地下鉄御堂筋線江坂駅東 電話(06)385-1281

みなさまの健康を約束する店
デージー自然健康食品店
豊中市新千里東町1-5-2 セルシー内 電話(06)832-7547

凸版印刷・平版印刷
大枝印刷株式会社
吹田市元町28番7号 電話(06)381-3395(代)

編集後期

日本万国博覧会の開備されました年に吹田の地に産声をあげた吹田青年会議所も早や五年を迎えました。ここで一つの節として記念誌を発行いたしました。将来何かに役立てば幸甚です。最後に編集に当り、御協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

編集責任者 桑原忠勝

編集委員 堀田 稔

佐倉久夫

武田富男

中野忠行

早川義明

古本邦博

発行日 1974年11月18日

印刷所 大枝印刷株式会社

発行 吹田青年会議所

吹田市広芝町10-3

サニーストンホテル内

TEL (06)386-1475

